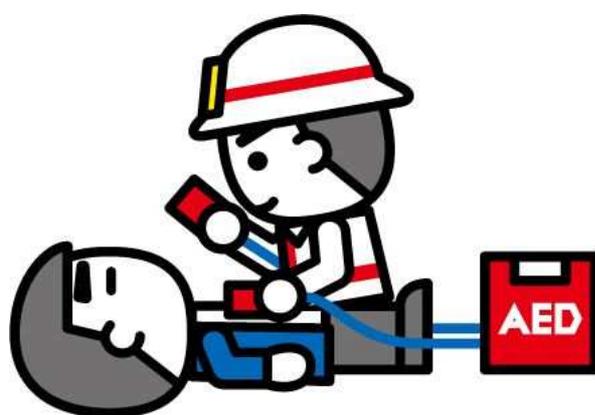


# III 救急・救助



余 白

# 第 1 救急活動の概況

## 1 救急業務実施体制

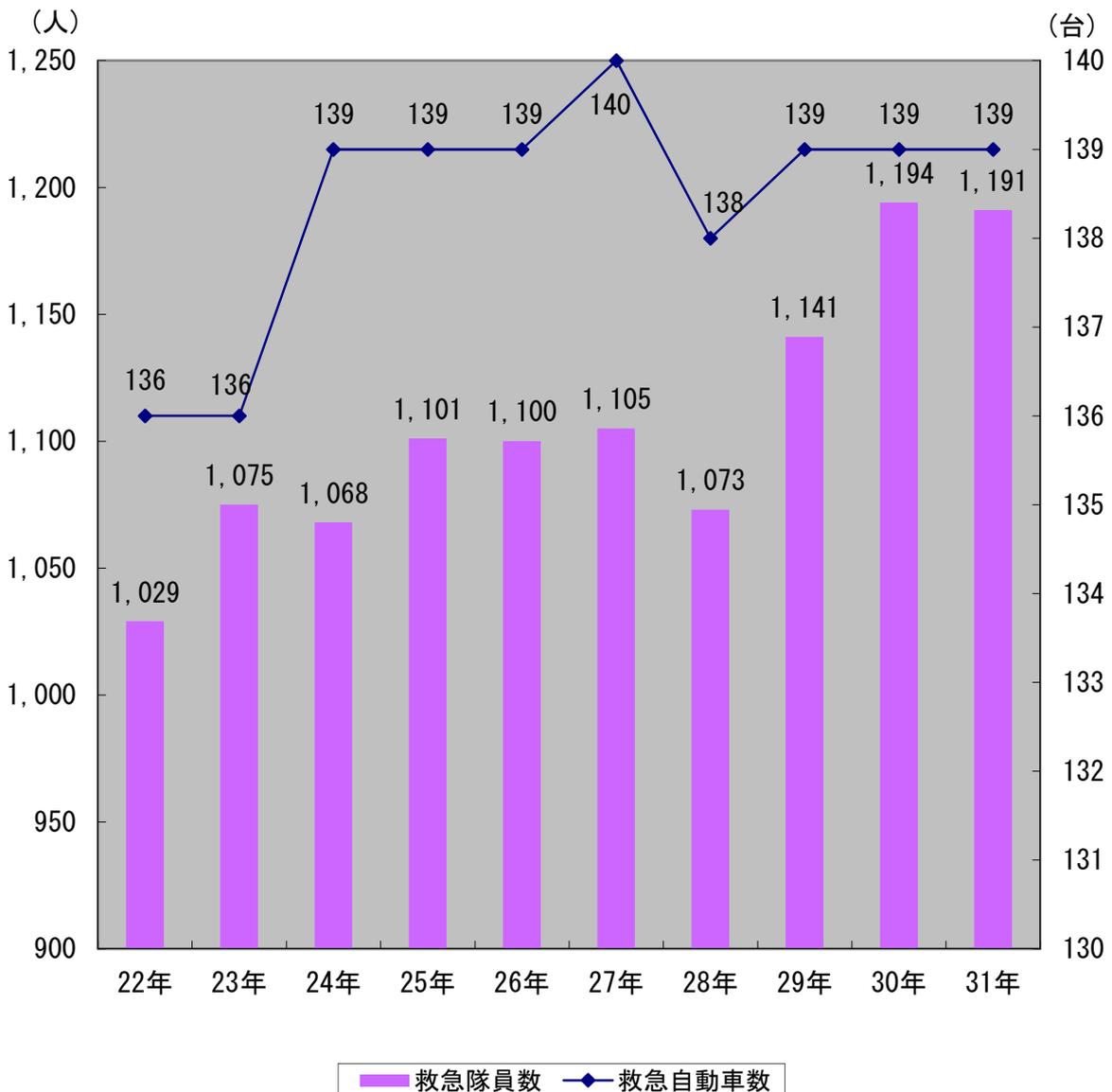
平成31年4月1日において救急業務を実施している市町村は41市町村で、県人口の99.9%がカバーされている。

救急自動車の保有台数は139台、救急隊員は1,191人（専任304人、兼任887人）。また、救急告示療機関は100機関、その他医療機関は1,352機関となっている。

平成3年8月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

平成31年4月1日現在、県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており、資格者合計721名のうち576名が救急業務に従事している。

図 1 過去10年間の救急自動車及び救急隊員数の推移（各年4月1日現在）



## 2 救急業務実施状況

### (1) 概要

平成30年中における救急出動件数は84,936件、搬送人員は77,536人で、いずれも過去最多となった。

また、昨年と比べると救急出動件数は1,045件（1.20%）の増加、搬送人員は774人（1.00%）の増加となっている。

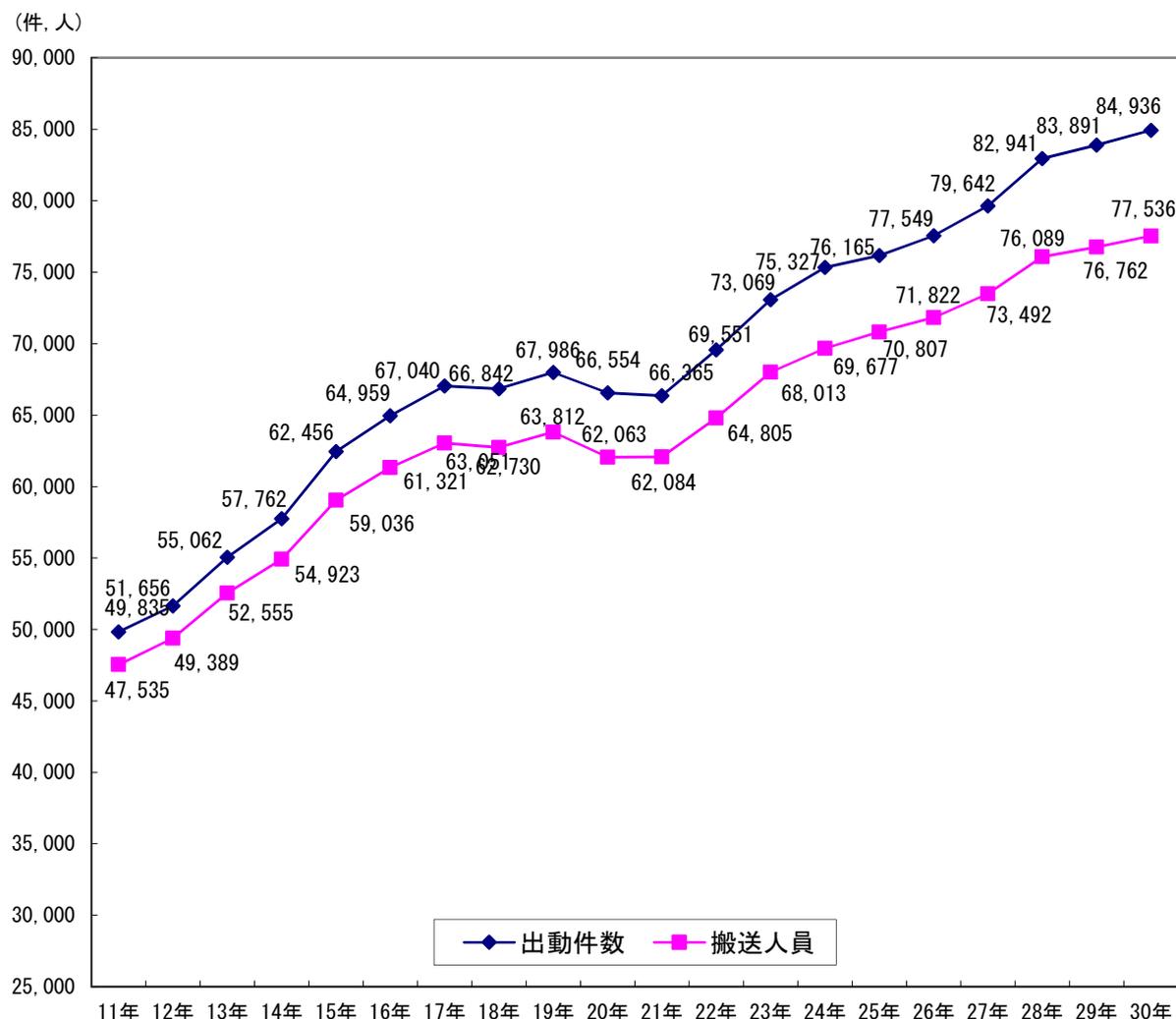
これは、1日平均232.7件（前年229.8件）、約6.2分に1回の割合で救急隊が出動し、また1日平均212.4人（前年210.3人）、約6.8分に1人の割合で搬送されていることとなる。

事故種別救急出動件数は、前年と同じく1位が急病で51,518件（全体の60.6%）、次いで、その他13,839件（同16.2%）、一般負傷が11,559件（同13.6%）となっている。

なお、搬送人員については、1位が急病で46,525人（全体の60.0%）、次いで、その他が12,779人（同16.4%）、一般負傷が10,823人（同13.9%）となり、上位3位までで全体の約90.4%を占めている。

過去20年間の県内救急活動の推移は下図のとおりであり、これまで増加の一途をたどっていた搬送人員・出動件数は、平成17年からほぼ横ばいとなっていたが、平成22年から再び増加に転じている。

図2 過去20年間の救急出動件数、搬送人員の推移



(2) 事故種別，傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表1 事故種別出動件数及び搬送人員の状況

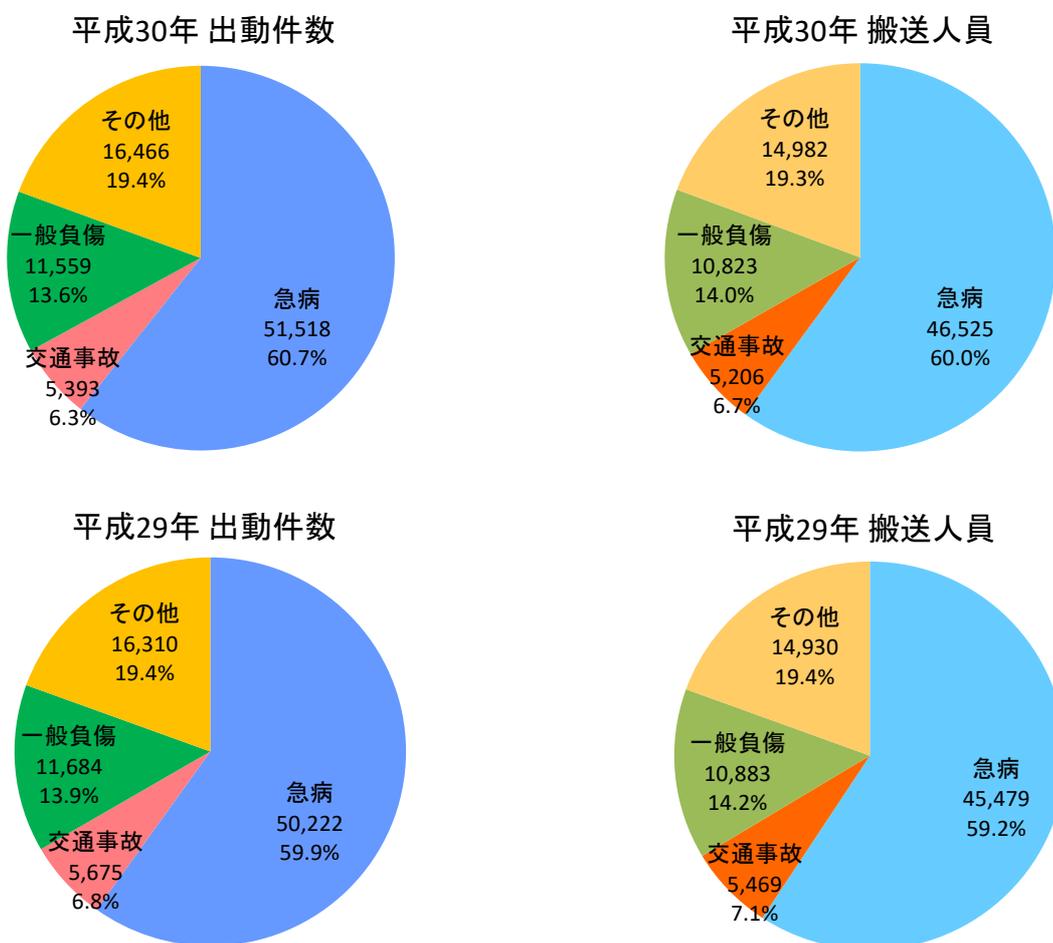
(単位：件，人，%)

区分	計	構成比	急病		交通事故		一般負傷		その他		
			急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比	
平成30年	出動件数	84,936	100.0	51,518	60.7	5,393	6.3	11,559	13.6	16,466	19.4
	搬送人員	77,536	100.0	46,525	60.0	5,206	6.7	10,823	14.0	14,982	19.3
平成29年	出動件数	83,891	100.0	50,222	59.9	5,675	6.8	11,684	13.9	16,310	19.4
	搬送人員	76,761	100.0	45,479	59.2	5,469	7.1	10,883	14.2	14,930	19.4
増減	出動件数	1,045	—	1,296	—	△ 282	—	△ 125	—	156	—
	搬送人員	775	—	1,046	—	△ 263	—	△ 60	—	52	—

(注) その他は，火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他（転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他）を示す。

図3

(単位：件，人，%)



## ア 年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると、高齢者、成人、乳幼児では、急病が半数を超える高い率を占めており、少年では他の年齢に比べ、交通事故が比較的高い比率を占めている。

表2 年齢別搬送人員の状況

(単位：人，%)

区分	計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
	計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比
新生児	175	100.0	34	19.4	0	0.0	4	2.3	137	78.3
乳幼児	2,706	100.0	1743	64.4	126	4.7	563	20.8	274	10.1
少年	2,480	100.0	1,153	46.5	428	17.3	304	12.3	595	24.0
成人	22,305	100.0	13,004	58.3	3,029	13.6	1,937	8.7	4,335	19.4
高齢者	49,870	100.0	30,591	61.3	1,623	3.3	8,015	16.1	9,641	19.3
合計	77,536	100.0	46,525	60.0	5,206	6.7	10,823	14.0	14,982	19.3

(注) 新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

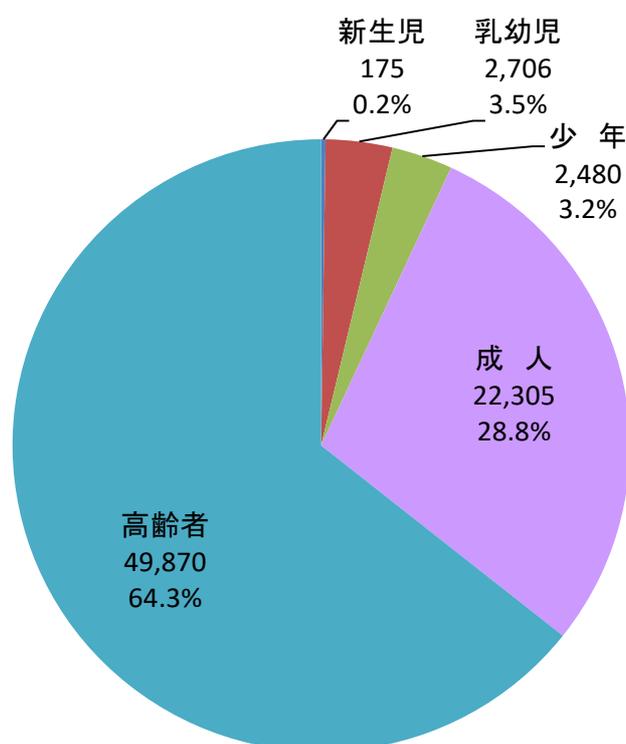
成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

(注) その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他（転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他）を示す。

(注) 構成比：搬送理由/年齢区分別搬送人員

図4



イ 傷病程度別搬送人員

平成30年中における搬送人員は77,536人であるが、これを傷病程度別にみると、軽症、中等症の両者で全体の87.8%を占めている。

表3 傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人、%）

区分	合計		死亡	構成比	重症		中等症		軽症		その他	
	合計	構成比			重症	構成比	中等症	構成比	軽症	構成比	その他	構成比
火災	52	100.0			6	11.5	22	42.3	24	46.2		
自然災害	33	100.0			6	18.2	13	39.4	14	42.4		
水難	40	100.0	7	17.5	12	30.0	10	25.0	11	27.5		
交通事故	5,206	100.0	17	0.3	320	6.1	1,609	30.9	3,258	62.6	2	0.0
労働災害	729	100.0	4	0.5	116	15.9	336	46.1	273	37.4		
運動競技	634	100.0			18	2.8	197	31.1	419	66.1		
一般負傷	10,823	100.0	56	0.5	1,233	11.4	5,049	46.7	4,482	41.4	3	0.03
加害	236	100.0	4	1.7	4	1.7	65	27.5	163	69.1		
自損行為	479	100.0	40	8.4	72	15.0	227	47.4	140	29.2		
急病	46,525	100.0	591	1.3	4,121	8.9	24,909	53.5	16,893	36.3	11	0.02
その他	12,779	100.0	8	0.1	2,761	21.6	9,635	75.4	351	2.7	24	0.19
計	77,536	100.0	727	0.9	8,669	11.2	42,072	54.3	26,028	33.6	40	0.05

- ※ 死亡：初診時において、死亡が確認されたもの
- 重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 軽症：傷病の程度が入院を必要としないもの
- その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの
- ※ 構成比：傷病程度人数/区分合計

また、年齢別にみると、新生児、成人、高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し、乳幼児、少年の場合は、軽症の比率が高くなっている。

表4 傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人、％）

区分	合計		死亡	構成比	重症		中等症		軽症		その他	
	合計	構成比			重症	構成比	中等症	構成比	軽症	構成比	その他	構成比
新生児	175	100.0	1	0.6	35	20.0	126	72.0	10	5.7	3	1.71
乳幼児	2,706	100.0	3	0.1	73	2.7	750	27.7	1,880	69.5		
少年	2,480	100.0	1	0.0	65	2.6	777	31.3	1,635	65.9	2	0.08
成人	22,305	100.0	112	0.5	1,727	7.7	10,309	46.2	10,144	45.5	13	0.06
高齢者	49,870	100.0	610	1.2	6,769	13.6	30,110	60.4	12,359	24.8	22	0.04
計	77,536	100.0	727	0.9	8,669	11.2	42,072	54.3	26,028	33.6	40	0.05

(3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況

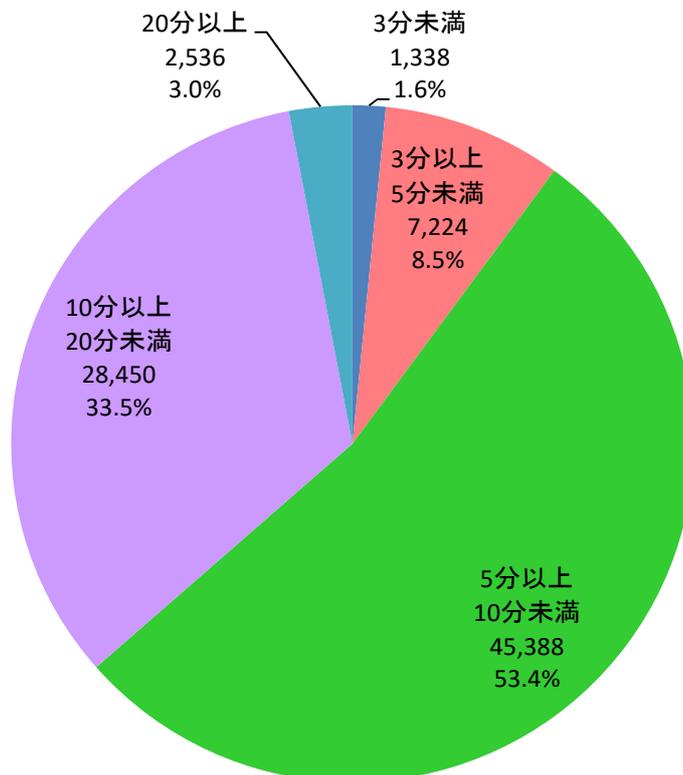
平成30年中の救急出動件数84,936件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。

これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の45,388件で全体の53.4%を占めている。

表5 現場到着時間別出動件数

区分	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着平均 所要時間	
							県	全国
急病	51,518	608	3,143	27,531	18,742	1,494	9.4分	—
交通事故	5,393	77	349	2,639	1,998	330	10.1分	—
一般負傷	11,559	177	783	6,043	4,197	359	9.3分	—
その他	16,466	476	2,949	9,175	3,513	353	7.7分	—
計	84,936	1,338	7,224	45,388	28,450	2,536	9.1分	8.7分
構成比	100.0%	1.6%	8.5%	53.4%	33.5%	3.0%	—	—

図5



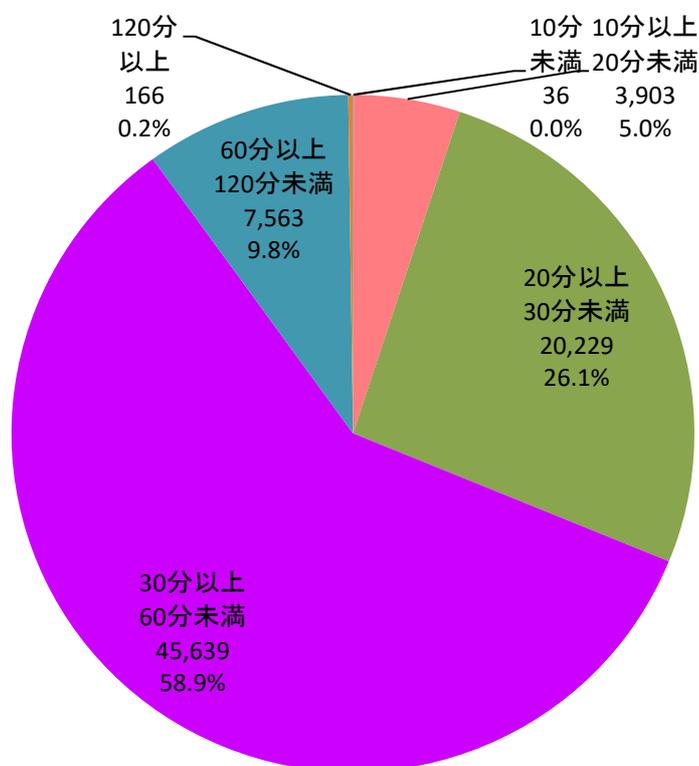
平成30年中の搬送人員77,536人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。

これによると搬送人員のうち53,368人（68.9%）が収容に30分以上要している。

表6 収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	収容平均 所要時間	
								県	全国
急病	46,525	16	1,571	12,043	28,925	3,890	80	38.6分	—
交通事故	5,206	2	142	1,061	3,322	668	11	41.8分	—
一般負傷	10,823	3	352	2,554	6,747	1,143	24	40.2分	—
その他	14,982	15	1,838	4,571	6,645	1,862	51	37.9分	—
計	77,536	36	3,903	20,229	45,639	7,563	166	38.9分	39.5分
構成比	100.0%	0.0%	5.0%	26.1%	58.9%	9.8%	0.2%	—	—

図6



- (4) 事故種別転送回数別搬送人員の状況  
 搬送人員77,536人のうち99.5%は、転送なしで収容されているが、  
 0.5%（409人）にあたる人は転送されている。  
 そのうち、転送回数1回の者が転送者全体の99.8%を占めている。

表7 転送回数別搬送人員の状況

区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
転送なし	77,127	46,261	5,182	10,747	14,937	
転送	1回	408	263	24	76	45
	2回	1	1			
	3回					
	4回					
	5回以上					
	小計 (A)	409	264	24	76	45
計 (B)	77,536	46,525	5,206	10,823	14,982	
転送率 (A)/(B) × 100	0.5	0.6	0.5	0.7	0.3	

転送理由についてみると、救急告示医療機関、非告示医療機関ともに処置困難が多く、次いで専門外の順になっている。

表8 医療機関転送理由の状況

(単位：件，%)

区分		合計	ベッド 満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
救急告示	構成比	100.0	0.6	16.0	0.6	0.6	53.8	1.9	26.3
		156	1	25	1	1	84	3	41
非告示	構成比	100.0	2.1	30.6		2.6	54.9	1.6	8.3
		193	4	59		5	106	3	16
計	構成比	100.0	1.4	24.1	0.3	1.7	54.4	1.7	16.3
		349	5	84	1	6	190	6	57

(5) 救急隊員の行った応急処置の状況

平成30年中に転送された人員のうち、救急隊員によって応急処置された人の事故種別、処置項目状況をみると、急病においては、血中酸素飽和度の測定が最も多く、次いで血圧測定が多い。

また、交通事故、一般負傷においても、血中酸素飽和度の測定、血圧測定の順で処置が多くなっている。

表9 救急隊員の行った応急処置の状況

(単位:人)

処置項目	事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	その他				
	応急処置対象搬送人員									
		76,893	46,393	5,171	10,772	14,557				
止	血	1,828	243	280	1,036	269				
固	定	6,180	296	3,232	2,000	652				
人	工	呼	吸	358	258	13	28	59		
心	マ	ツ	サ	ー	ジ	146	105	5	15	21
心	肺	蘇	生	1,573	1,257	38	152	126		
酸	素	吸	入	16,690	10,713	582	823	4,572		
気	道	確	保	2,404	1,902	64	204	234		
(再掲)気道確保のうち気管挿管		225	152	6	45	22				
保	温	6,750	4,519	320	888	1,023				
被	覆	4,081	248	975	2,378	480				
在	宅	療	法	継	続	221	186		21	14
ショックパンツによる血圧保持										
除	細	動	199	170	3	11	15			
薬	剤	投	与	228	177	7	31	13		
血	圧	測	定	73,088	44,026	5,031	10,242	13,789		
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		21,967	15,249	1,931	2,256	2,531				
血中酸素飽和度の測定		75,004	45,151	5,093	10,522	14,238				
心	電	図	44,042	31,136	2,014	4,206	6,686			
静脈路確保(CPA前)		238	189	23	11	15				
静脈路確保(CPA後)		499	392	18	50	39				
血	糖	測	定	955	894	7	38	16		
ブ	ド	ウ	糖	投	与	77	77			
その他の応急処置		43,630	27,825	2,693	5,963	7,149				
計(再掲の気管挿管を除く)		300,158	185,013	22,329	40,875	51,941				

(注) 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6) 高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は、平成31年4月1日現在、九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ間えびのインターチェンジから人吉インターチェンジ間を沿線3市1組合で、相互応援協定を締結し、上下線方式により、第1次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。

東九州自動車道31.7kmは沿線1市1組合が担当している。

県内においては、上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて、第1次出場を担当し、救急業務を行っている。

なお、平成30年中の本県における救急活動は、下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表10 九州自動車道

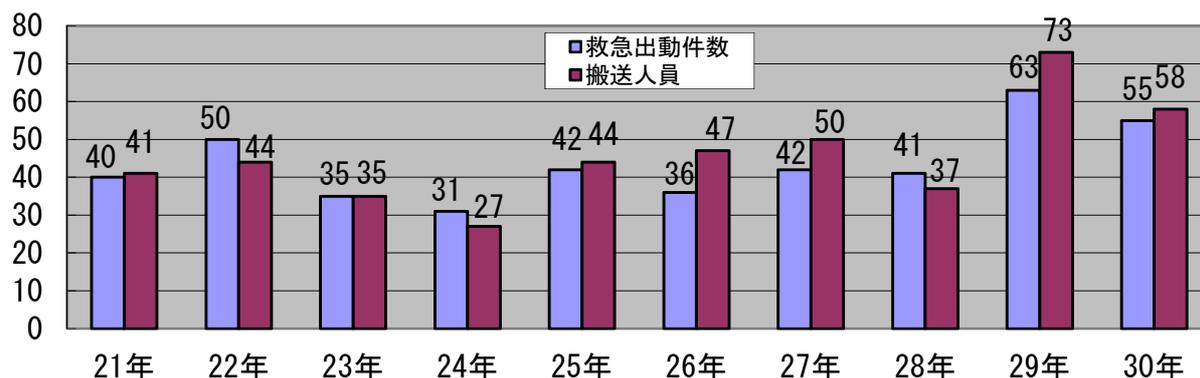
区分	インターチェンジ名 (IC)	救急出動件数	搬送人員	救急告示医療機関数	高速道路における救急活動開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島	4	4	24	昭和63.3.29
	鹿児島北	9	9	3	昭和52.11.15
	薩摩吉田	5	5		昭和48.12.13
始良市消防本部	始良	17	19	3	昭和48.12.13
	加治木	6	5	3	昭和48.12.13
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	2	6	1	平成17.11.7
	横川	2	2		平成17.11.7
伊佐湧水消防組合	栗野	1	1	3	昭和55.3.22
計	8 IC	46	51	37	

(注) 医療機関は、インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表11 東九州自動車道

区分	インターチェンジ名 (IC)	救急出動件数	搬送人員	救急告示医療機関数	高速道路における救急活動開始年月日
霧島市消防局	国分	2	2		平成14.3.2
	隼人東	1	1	3	平成12.3.4
大隅曾於地区消防組合	末吉財部	1	2		平成14.5.9
計	3 IC	4	5	3	

図7 最近10年間の高速自動車道における救急出動件数及び搬送人員



### 3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために、平成3年8月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され、これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年4月1日より救急科に改称）及び救急Ⅱ課程）の修了者は、従来の応急処置に加えて9項目の処置を行うものとされ、救急救命士資格者は、医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定3項目）をも行うものとされた。

これに伴い、消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用され、資格者、高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。

また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成15年2月に消防機関、救急医療機関、医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を、同年3月に6地域（薩摩、北薩、始良伊佐、大隅、熊毛、大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し、平成15年4月から包括的除細動を実施し、平成16年7月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で、体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し、397名が認定を受け19消防本部で実施が可能となっている。

平成18年4月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与について568名が認定・登録を受け、平成26年4月には「心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」の実施が追加され、424名が認定・登録を受け、20消防本部で実施が可能となっている。

さらに、救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため、平成30年12月末までに応急手当指導員2,380名、応急手当普及員544名が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。

なお、平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により、非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となったことから、AEDの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

平成30年中の住民に対する応急手当講習会実施状況

普通救命講習	942回	18,758名受講
上級救命講習	31回	309名受講
救急入門コース	442回	14,238名受講
その他の講習	1,469回	41,250名受講
計	2,884回	151,461名受講

表12 救急業務高度化の推進状況

各年4月1日現在

区分	令和元年	平成30年	対前年比較	
			増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数	20	20		1.00
救急隊員数①	1,191	1,194	△ 3	1.00
うち救急救命士有資格者②	576	565	11	1.02
(②/①:%)	(48.4%)	(47.3%)		
(②のうち気管挿管認定者)	397	368	29	1.08
(②のうち薬剤投与認定者)	568	517	51	1.10
(②のうち処置拡大認定者)	424	325	99	1.30
うち救急科（救急標準課程）	513	535	△ 22	0.96
(③/①:%)	(43.1%)	(44.8%)		
救急自動車数④	139	139		1.00
うち高規格車⑤	124	119	5	1.04
(⑤/④:%)	(89.2%)	(85.6%)		
救急隊数⑥	114	111	3	1.03
うち救急救命士運用隊⑦	114	108	6	1.06
(⑦/⑥:%)	(100.0%)	(97.3%)		

※1 救急隊員として専任又は兼任の辞令を受けている救急救命士資格者数は601名、専任及び兼任の者が休日等の時、代替として救急業務に従事する資格者が34名、救急自動車に搭乗しない資格者が86名で、有資格者は計721名いる。

表13 救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 (人) H27年 国調	面積 (km <sup>2</sup> )	救 急 体 制											
			救急車総数 (台)			救急 隊数	救急 救命 士運 用隊 数 ※2	救急隊員数 (人)						
			うち 高規 格	うち 予備 車	計			うち資格者・修了者				専任	兼任	
								救急 救命 士	標準 課程	救急 I課 程	救急 II課 程			
鹿児島市消防局	596,319	547.55	21	20	5	16	16	119	72	43		6	70	49
枕崎市消防本部	22,059	74.78	3	2	1	2	2	33	8	19		5		33
出水市消防本部	54,072	329.98	4	4		3	3	16	22	1			16	
垂水市消防本部	15,520	162.1	3	2	1	2	2	41	10	23		3		41
薩摩川内市消防局	96,076	682.92	9	6	1	7	7	49	33	14		2	18	31
日置市消防本部	49,249	253.01	4	4	1	3	3	47	15	25			22	25
霧島市消防局	125,857	603.18	8	8		8	8	48	45	2			46	2
いちき串木野市 消防本部	29,290	112.3	3	3	1	2	2	28	12	11	1	3		28
南さつま市消防本部	35,439	283.59	5	4		5	5	70	21	45		4	21	49
始良市消防本部	76,993	231.25	5	4	1	4	4	37	22	6			37	
さつま町消防本部	21,569	303.9	3	3	1	2	2	18	12	5		1	8	10
指宿南九州消防組合	78,215	506.75	8	6		8	8	122	48	71		3		122
阿久根地区消防組合	31,629	250.42	6	4	2	4	4	53	22	28		6		53
伊佐湧水消防組合	37,137	536.85	6	5	1	5	5	68	23	36		5		68
大隅曾於地区消防組合	81,308	781.06	9	9	2	7	7	47	43	9			29	18
大隅肝属地区消防組合	141,267	1160.79	11	11	1	10	10	89	40	44			29	60
沖永良部与論地区 広域事務組合	17,797	114.27	4	3	2	2	2	39	19	13		4		39
徳之島地区消防組合	25,591	247.91	4	1	1	6	6	44	18	17	9			44
熊毛地区消防組合	42,760	993.69	10	8	4	6	6	90	40	31		16		90
大島地区消防組合	68,504	877.89	13	12	1	12	12	133	51	70		8	8	125
計	1,646,651	9,054.19	139	119	26	114	114	1,191	※1 576	513	10	66	304	887

※1 救急隊員として専任又は兼任の辞令を受けている救急救命士資格者数は601名、専任及び兼任の者が休日等の時、代替として救急業務に従事する資格者が34名、救急自動車に搭乗しない資格者が86名で、有資格者は計721名いる。

※2 救急救命士運用隊数は、一部運用も含む。

[現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は平成30年中、左記以外は平成31年4月1日現在]

医 療 機 関 数												人口10万人当たりの救急医療機関数	現場到着平均所要時間(分)	収容平均所要時間(分)
合計	救急告示医療機関					その他の医療機関								
	国公立	公的	私 的		計	国公立	公的	私 的		計				
			病 院	診 療 所				病 院	診 療 所					
641	3	3	26	3	35	14	4	58	526	602	5.9	9.2	33.7	
19	1		3		4			4	11	15	18.1	4.8	31.6	
40	2				2	1		4	33	38	3.7	8.3	35.9	
8	1				1				7	7	6.4	7.0	42.3	
84		1	6		7	5		5	67	77	7.3	8.7	38.3	
39			2		2			7	30	37	4.1	8.9	42.4	
98	1		4	1	6	1		9	82	92	4.8	9.6	44.0	
29								6	23	29		6.9	38.5	
37	2		1		3	3		4	27	34	8.5	8.4	39.5	
66			4		4	3		4	55	62	5.2	7.9	39.1	
20			1		1			4	15	19	4.6	9.4	48.8	
65	1		3	1	5			12	48	60	6.4	9.6	42.1	
21			2		2	4		1	14	19	6.3	9.5	44.7	
29	1		2		3			4	22	26	8.1	8.7	43.1	
43			1	1	2			8	33	41	2.5	9.6	51.4	
107	2		6	2	10	11		11	75	97	7.1	9.5	41.3	
9			2		2				7	7	11.2	8.4	30.9	
8			2	1	3			1	4	5	11.7	10.0	42.8	
21	1		2		3	4		1	13	18	7.0	8.8	40.5	
73	1		4		5	12	1	4	51	68	7.3	9.9	39.3	
1,457	16	4	71	9	100	58	5	147	1,143	1,353	6.1	9.1	38.9	

表14 消防本部救急出動件数及び搬送人員

区分		事故種別救急出動件										
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
消防本部名												
鹿児島市消防局		31,050	67	4	15	1948	233	222	3988	137	276	19891
枕崎市消防本部		1,056	1		2	54	16	6	133	4	11	590
出水市消防本部		2,276	1		1	180	24	21	274	7	22	1399
垂水市消防本部		1,050			1	75	6	2	138	3	8	636
薩摩川内市消防局		4,330	12		4	268	44	43	538	15	35	2,464
日置市消防本部		2,300	2		1	147	17	26	340	4	17	1,308
霧島市消防本部		6,211	8		8	522	51	41	846	19	43	3,619
いちき串木野市消防本部		1,165			3	62	9	11	166	3	7	633
南さつま市消防本部		1,835	2		2	109	14	30	280	3	18	1,000
始良市消防本部		3,675	1	1	3	220	43	28	509	14	44	2,133
さつま町消防本部		1,070	2			74	9	19	168	1	11	582
指宿南九州消防組合		4,211	2	4	11	261	55	27	612	4	17	2,160
阿久根地区消防組合		1,970	1		6	106	5	15	269	3	10	1,191
伊佐湧水消防組合		1,998	2			124	10	15	281	6	8	1,042
大隅曾於地区消防組合		4,354	2	1	4	358	88	22	618	10	28	2,746
大隅肝属地区消防組合		7,256	4	3	4	505	72	45	963	27	50	4,401
沖永良部与論地区 広域事務組合		836	2			40	11	9	157	4	7	505
徳之島地区消防組合		1,669	1	3	1	67	10	12	261	6	13	1,143
熊毛地区消防組合		2,431	7	2	3	81	24	24	363	1	11	1,606
大島地区消防組合		4,193	2	21	19	192	22	32	655	28	33	2,469
計		84,936	119	39	88	5,393	763	650	11,559	299	669	51,518
時間別	0~2	3,518	11	2	2	116	8	2	409	59	47	2,559
	2~4	2,820	9	1		87	7		306	47	24	2,119
	4~6	2,839	4		3	91	6	1	320	25	34	2,191
	6~8	5,500	6	2	8	505	28	2	761	13	55	3,862
	8~10	10,476	10	3	7	690	143	49	1,618	9	57	6,057
	10~12	11,297	13	11	15	625	164	193	1,566	14	75	5,794
	12~14	10,252	10	4	24	642	117	126	1,279	8	50	5,374
	14~16	9,202	16	4	9	659	144	119	1,289	15	65	4,955
	16~18	9,211	16	4	6	784	90	76	1,366	25	81	5,049
	18~20	8,068	13	2	3	689	30	46	1,101	17	78	5,177
	20~22	6,634	6	1	5	298	15	36	884	38	63	4,674
22~24	5,119	5	5	6	207	11		660	29	40	3,707	

〔平成30年中〕

数				事故種別搬送人員											
その他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資輸 機材 等送	その他												
3,673		3	593	27,469	15	2	6	1,908	214	216	3,716	105	203	17,425	3,659
234	2		3	1,025	1		1	55	17	6	132	3	8	568	234
329	5	1	12	2,083	2			159	23	20	251	6	18	1,278	326
179			2	1,035			1	94	6	2	138	3	3	611	177
844	7		56	3,921	1		2	253	42	39	499	13	26	2,227	819
434		1	3	2,203	2			146	17	24	333	3	13	1,232	433
1,027	14		13	5,807	7		3	479	50	41	816	16	29	3,345	1,021
270			1	1,113			2	64	8	11	156	3	6	593	270
368	5		4	1,750	2		1	112	14	31	264	3	14	942	367
674	2		3	3,478	1	1		216	43	27	483	11	34	1,989	673
199	5			989	2			65	9	16	160	1	8	529	199
1,041	5	2	10	3,985	2	3	6	246	50	27	581	3	11	2,010	1,046
358	1		5	1,891			3	110	5	18	258	2	10	1,127	358
502			8	1,920	2			132	10	16	270	5	5	980	500
476			1	4,111	2	1	1	316	86	22	590	10	15	2,595	473
1,158	5		19	6,696	5	1	1	492	70	44	906	20	35	3,967	1,155
93			8	788	3			42	11	9	148	4	5	473	93
93			59	1,576	1	4		67	9	12	248	4	7	1,128	96
280	15		14	2,305	3	2	2	88	23	23	352	1	6	1,527	278
640	4	1	75	3,391	1	19	11	162	22	30	522	20	23	1,979	602
12,872	70	8	889	77,536	52	33	40	5,206	729	634	10,823	236	479	46,525	12,779
222		1	80	3,121	6	2		104	6	2	364	48	41	2,331	217
137		1	82	2,484	2	1		76	7		277	36	22	1,925	138
101			63	2,590	3		1	85	5	2	303	18	26	2,045	102
175			83	5,066	4	3	2	492	28	2	729	10	35	3,589	172
1,729	14	2	88	9,594	4	3	3	650	134	48	1,546	8	38	5,446	1,714
2,744	16	2	65	10,343	6	8	7	606	157	186	1,493	12	46	5,099	2,723
2,535	19		64	9,328	5	4	12	605	115	127	1,182	4	36	4,733	2,505
1,846	11		70	8,385	9	3	5	644	138	115	1,202	12	46	4,376	1,835
1,634	8	1	71	8,420	6	1	3	758	86	72	1,281	21	57	4,503	1,632
835	1	1	75	7,477	4	2	3	686	28	46	1,033	15	53	4,771	836
545			69	6,050	2	1	3	289	14	34	801	31	47	4,288	540
369	1		79	4,678	1	5	1	211	11		612	21	32	3,419	365

表15 曜日別月別救急出動件数

(平成30年中)

事故種別 (件)	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他				計	
											転院 搬送	医師 搬送	資機 材等 輸送	その他		
区分																
曜日別	月	16	1	21	843	121	54	1,649	40	95	7,898	2,158	11		108	13,015
	火	20	4	13	786	122	47	1,550	32	111	7,124	2,034	8	3	123	11,977
	水	13	3	10	782	118	50	1,584	39	94	6,946	1,964	16	2	109	11,730
	木	15	5	10	784	121	68	1,571	38	92	7,059	1,912	10	2	108	11,795
	金	16	2	8	753	131	49	1,594	27	94	7,207	2,166	10	1	117	12,175
	土	25	10	11	767	100	133	1,757	46	87	7,565	1,650	7		154	12,312
	日	14	14	15	678	50	249	1,854	77	96	7,719	988	8		170	11,932
計	119	39	88	5,393	763	650	11,559	299	669	51,518	12,872	70	8	889	84,936	
月別	1月	15		5	407	44	24	1088	24	39	5,352	1,205	8	1	44	8,256
	2月	24		7	408	44	30	919	18	61	4,632	1,049	11		56	7,259
	3月	17		6	454	54	83	956	24	65	4,259	1,063	6	1	54	7,042
	4月	8	1	7	430	63	40	884	25	61	3,963	1,030	5	2	68	6,587
	5月	4		9	473	59	66	862	33	62	3,911	1097	4		73	6,653
	6月	1	1	5	383	68	52	802	26	49	3,546	1005	4	2	94	6,038
	7月	10	5	14	450	100	91	973	29	52	4,865	1085	5	1	90	7,770
	8月	9	3	15	483	88	85	998	27	57	4,651	1068	5	1	97	7,587
	9月	4	21	5	433	72	66	911	15	77	3,849	967	8		66	6,494
	10月	13	8	5	518	64	28	1107	29	56	4,000	1106	5		74	7,013
	11月	8		8	444	55	44	971	19	44	3,993	1068	5		85	6,744
	12月	6		2	510	52	41	1088	30	46	4,497	1,129	4		88	7,493

#### 4 応急手当指導員等養成講習の状況

表16

【指導員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成30年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	32	21	11			1	3
	応急手当指導員講習Ⅱ	93	5		88			16
	応急手当指導員講習Ⅲ							
	消防長認定者	26	20	4	1	1	5	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者						1	
	計	151	46	15	89	1	7	19
前年中までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	564	450	20	55	39	14	55
	応急手当指導員講習Ⅱ	1,104	533		571			418
	応急手当指導員講習Ⅲ	2	1			1		1
	消防長認定者	453	396	30		27	32	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	106	105	1			1	
	計	2,229	1,485	51	626	67	47	474
合計	2,380	1,531	66	715	68	54	493	

表17

【普及員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成30年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	93			41		52	3
	応急手当普及員講習Ⅱ	1		1				1
	消防長認定者							
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	94		1	41		52	3
前年中までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	427	1		63	7	356	3
	応急手当普及員講習Ⅱ							
	消防長認定者	23					23	
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	450	1		63	7	379	3
合計	544	1	1	104	7	431	6	

## 第2 救助活動の概況

### 1 救助業務実施体制

平成31年4月1日現在，救助隊は29隊配置されており，そのうち4隊が特別救助隊で，1隊が高度救助隊である。

また，342人の救助隊員のうち31.0%にあたる106人が専任救助隊員である。

表18 救助体制

(単位：隊，人)

区分	救助隊数			救助隊員数			
	省令	専任救助隊	兼任救助隊	計	専任救助隊員	兼任救助隊員	計
消防本部	3	3		3	42		42
	4	2		2	28		28
	5	1		1	14		14
鹿児島市消防局	3		1	1		10	10
	4						
	5						
枕崎市消防本部	3		1	1		8	8
	4						
	5						
出水市消防本部	3		1	1		5	5
	4						
	5						
垂水市消防本部	3	1	1	2	12	12	24
	4	1		1	12		12
	5						
薩摩川内市消防局	3	1		1		12	12
	4						
	5						
日置市消防本部	3		2	2	2	7	9
	4						
	5						
霧島市消防局	3		1	1		8	8
	4						
	5						
いちき串木野市消防本部	3	1		1		8	8
	4						
	5						
南さつま市消防本部	3		1	1		10	10
	4						
	5						
始良市消防本部	3		1	1		16	16
	4						
	5						
さつま町消防本部	3		2	2		20	20
	4						
	5						
指宿南九州消防組合	3		1	1		31	31
	4						
	5						
阿久根地区消防組合	3		2	2		14	14
	4						
	5						
伊佐湧水消防組合	3	2		2	20		20
	4						
	5						
大隅曾於地区消防組合	3	1	2	3	10	32	42
	4	1		1	10		10
	5						
大隅肝属地区消防組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
沖永良部与論地区広域事務組合	3		1	1		22	22
	4						
	5						
徳之島地区消防組合	3		1	1		16	16
	4						
	5						
熊毛地区消防組合	3	1		1	10		10
	4						
	5						
大島地区消防組合	3	11	18	29	106	236	342
	4	4		4	50		50
	5	1		1	14		14
県計	3						
	4						
	5						

※ 省令3は省令第3条の規定による救助隊，省令4は省令第4条の規定による救助隊（特別救助隊），省令5は省令第5条の規定による救助隊（高度救助隊）

表19 救助隊が搭乗する車両

区分	救 助	はしご車	屈 折	ポンプ車	水 槽 付	化 学 車	そ の 他	計
	工 作 車		はしご車		ポンプ車			
消防本部								
鹿児島市消防局	3						1	4
枕崎市消防本部	1		1					2
出水市消防本部	1	1						2
垂水市消防本部								
薩摩川内市消防局	1				1			2
日置市消防本部	1						1	2
霧島市消防局	2	1			1			4
いちき串木野市消防本部	1	1						2
南さつま市消防本部	1	1						2
始良市消防本部	1						1	2
さつま町消防本部	1							1
指宿南九州消防組合	2	1					2	5
阿久根地区消防組合	1							1
伊佐湧水消防組合	2							2
大隅曾於地区消防組合	2	1			2			5
大隅肝属地区消防組合	1							1
沖永良部与論地区 広域事務組合	1							1
徳之島地区消防組合	1							1
熊毛地区消防組合	1							1
大島地区消防組合	1	1						2
県 計	25	7	1		4		5	42

## 2 救助業務実施状況

平成30年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数793件、救助活動件数477件、救助人員538人となっている。（表22）

これを前年と比較すると出動件数は72件（10.0％）の増加、活動件数は43件（9.9％）の増加、救助人員は27人（5.3％）の増加となっている。

図8 過去20年間の救助業務実施状況の推移

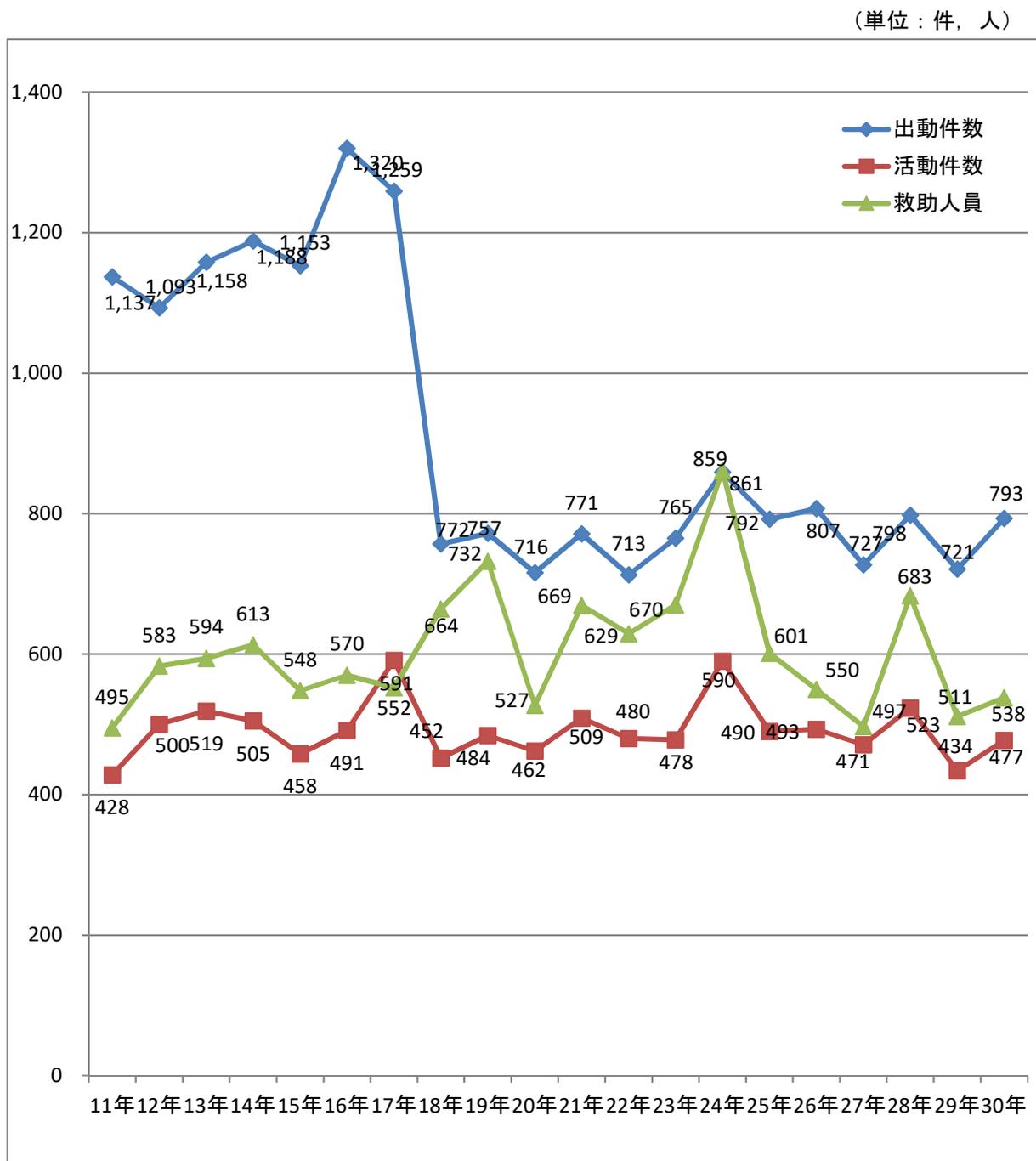


表20 事故種別出動件数及び出動人員の状況（平成30年）

（単位：件、人）

事故種別		火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風災	機械による	建築物等	ガス欠事及び	破裂事故	その他	計
消防本部												
鹿児島市消防局		27	41	14	2	1	9	2			18	114
枕崎市消防本部			12	1		2					2	17
出水市消防本部			19	1		4	2				5	31
垂水市消防本部			9								2	11
薩摩川内市消防局			23	6	1	1					13	44
日置市消防本部			19	1							10	30
霧島市消防局			41	9		2	1				21	74
いちき串木野市消防本部			4	3		1					5	13
南さつま市消防本部		11	11	3		1	2	1			3	32
始良市消防本部			36	3		2	5				14	60
さつま町消防本部			11								4	15
指宿南九州消防組合		2	43	8	1	4	8				30	96
阿久根地区消防組合			6	2		1					4	13
伊佐湧水消防組合			21			3					5	29
大隅曾於地区消防組合			40	5		9					7	61
大隅肝属地区消防組合		2	40	4	2	2	4	1			15	70
沖永良部与論地区広域事務組合			5	1		3	1				1	11
徳之島地区消防組合			1	1							1	3
熊毛地区消防組合			9	3							10	22
大島地区消防組合			24	11		1					11	47
救助出動件数 計		42	415	76	6	37	32	4			181	793
救助出動人員	専任救助隊員	308	770	205	18	39	83	21			297	1,741
	兼任救助隊員	21	519	71	18	55	22				201	907
	消防隊員	871	1,335	374	22	107	69	10			653	3,441
	救急隊員	103	1,908	254	14	120	86	13			547	3,045
	消防団員	620		17	11						683	1,331
	計	1,923	4,532	921	83	321	260	44			2,381	10,465

表21 事故種別活動件数及び活動人員の状況（平成30年）

（単位：件，人）

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建築物等による事故	ガス欠事及び	破裂事故	その他事故	計
消防本部											
鹿児島市消防局	27	34	11	2	1	6				14	95
枕崎市消防本部		4	1		1					2	8
出水市消防本部		9	1		4	2				5	21
垂水市消防本部		4								2	6
薩摩川内市消防局		11	3	1	1					11	27
日置市消防本部		15								9	24
霧島市消防局		15	1		2	1				12	31
いちき串木野市消防本部		2	3		1					3	9
南さつま市消防本部	11	6				2	1			1	21
始良市消防本部		35	1		1	5				11	53
さつま町消防本部		6								3	9
指宿南九州消防組合	2	24	6	1	3	1				25	62
阿久根地区消防組合		6	1							3	10
伊佐湧水消防組合		10								4	14
大隅曾於地区消防組合		3	5		3					2	13
大隅肝属地区消防組合	2	15	4	2		2	1			10	36
沖永良部与論地区広域事務組合		2			3	1					6
徳之島地区消防組合		1	1							1	3
熊毛地区消防組合		4	2							8	14
大島地区消防組合		4	5							6	15
救助活動件数 計	42	210	45	6	20	20	2			132	477
救助活動人員	専任救助隊員	259	308	115	18	16	51	5		178	950
	兼任救助隊員	19	219	48	18	31	6			136	477
	消防隊員	609	605	160	14	63	37	3		423	1,914
	救急隊員	73	798	112	7	53	55	7		337	1,442
	消防団員			15	11					582	608
	計	960	1,930	450	68	163	149	15		1,656	5,391

（注）「救助活動件数」とは、救助出動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表22 事故種別救助人員の状況（平成30年）

（単位：人）

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建築物等	ガス欠等	破裂事故	その他の事故	計
消防本部											
鹿児島市消防局	20	44	10	2	1	5				14	96
枕崎市消防本部		5	1		1					2	9
出水市消防本部		9	1		4	2				4	20
垂水市消防本部		5								2	7
薩摩川内市消防局		12	3	9	1					11	36
日置市消防本部		17								9	26
霧島市消防局		18	1		2					8	29
いちき串木野市消防本部		2	3		1					3	9
南さつま市消防本部	2	9				2	1			1	15
始良市消防本部		47	1		1	5				11	65
さつま町消防本部		7								3	10
指宿南九州消防組合	1	41	6	2	3					26	79
阿久根地区消防組合		6	1							3	10
伊佐湧水消防組合		13								5	18
大隅曾於地区消防組合		3	5		3					2	13
大隅肝属地区消防組合	1	18	3	6		2	1			10	41
冲永良部与論地区広域事務組合		2				3	1				6
徳之島地区消防組合		8	7							5	20
熊毛地区消防組合		4	2							8	14
大島地区消防組合		4	5							6	15
救助人員計	24	274	49	19	20	17	2			133	538

表23 救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般 用 救 助 用 器 具	かぎ付きはしご	39	隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋	122
	三連はしご	30		耐電衣	57
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	16		耐電ズボン	50
	空気式救助マット	21		耐電長靴	80
	救命索発射銃	31		防塵メガネ	109
	サバイバースリング又は救助用縛帯	91		携帯警報器	106
	平担架	15		防毒マスク	71
	重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ		33	器 除 染 具 用
油圧スプレッダー		11	陽圧式化学防護服	55	
可搬ウィンチ		33	耐熱服	20	
マンホール救助器具		25	放射線防護服	77	
救助用簡易起重機		2	特殊ヘルメット	2	
マット型空気ジャッキ		33	除染シャワー	2	
大型油圧スプレッダー		26	除染シャワー（4口以上）	2	
救助用支柱器具		18	除染剤散布器	3	
切 断 用 器 具	チェーンブロック	11	水 難 救 助 用 器 具	潜水器具	52
	油圧切断機	18		救命胴衣	194
	エンジンカッター	30		水中投光器	28
	ガス溶断機	22		救命浮環	86
	チェンソー	34		浮標	19
	鉄線カッター	47		救命ボート	15
	空気鋸	28		船外機	12
	大型油圧切断機	25		水中スクーター	
破 壊 用 器 具	空気切断機	14	器 具	水中無線機	5
	コンクリート・鉄筋切断用チェンソー	7		水中時計	28
	万能斧	75		水中テレビカメラ	1
	ハンマー	35		登山器具	11
	携帯用コンクリート破壊器具	21		バスケット型担架	41
測 定 用 器 具	削岩機	23	用山岳救助器具	簡易画像探索機	8
	ハンマドリル	22	高 度 救 助 器 具	画像探索機	8
	生物剤検知器	3		地中音響探知機	2
	可燃性ガス測定器	25		熱画像直視装置	12
	有毒ガス測定器	31		夜間暗視装置	2
	酸素濃度測定器	16		電磁波探査装置	
放射線測定器	45	二酸化炭素探査装置			
呼 吸 保 護 用 器 具	化学剤検知器	2	そ の 他 の 救 助 用 器 具	水中探査装置	
	空気呼吸器	156		地震警報器	1
	空気補充用ボンベ	279		投光器	54
	酸素呼吸器	47		携帯投光器	42
	簡易呼吸器	13		携帯拡声器	49
	防塵マスク	102		携帯無線機	53
送 排 風 機	送排風機	34	応急処置用セット	20	
	エアラインマスク		車両移動器具	17	
			緩降機	23	
			ロープ登降機	47	
			救助用降下機	40	
		発電機	53		

### 第3 自衛隊災害派遣による離島急患搬送

離島における医療体制の実情により、現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当てが必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

#### 搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第1航空群 鹿屋航空分遣隊（鹿屋市）  
十島村以北

陸上自衛隊第15旅団 第15ヘリコプター隊（沖縄県那覇市）  
奄美大島以南

#### 1 自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

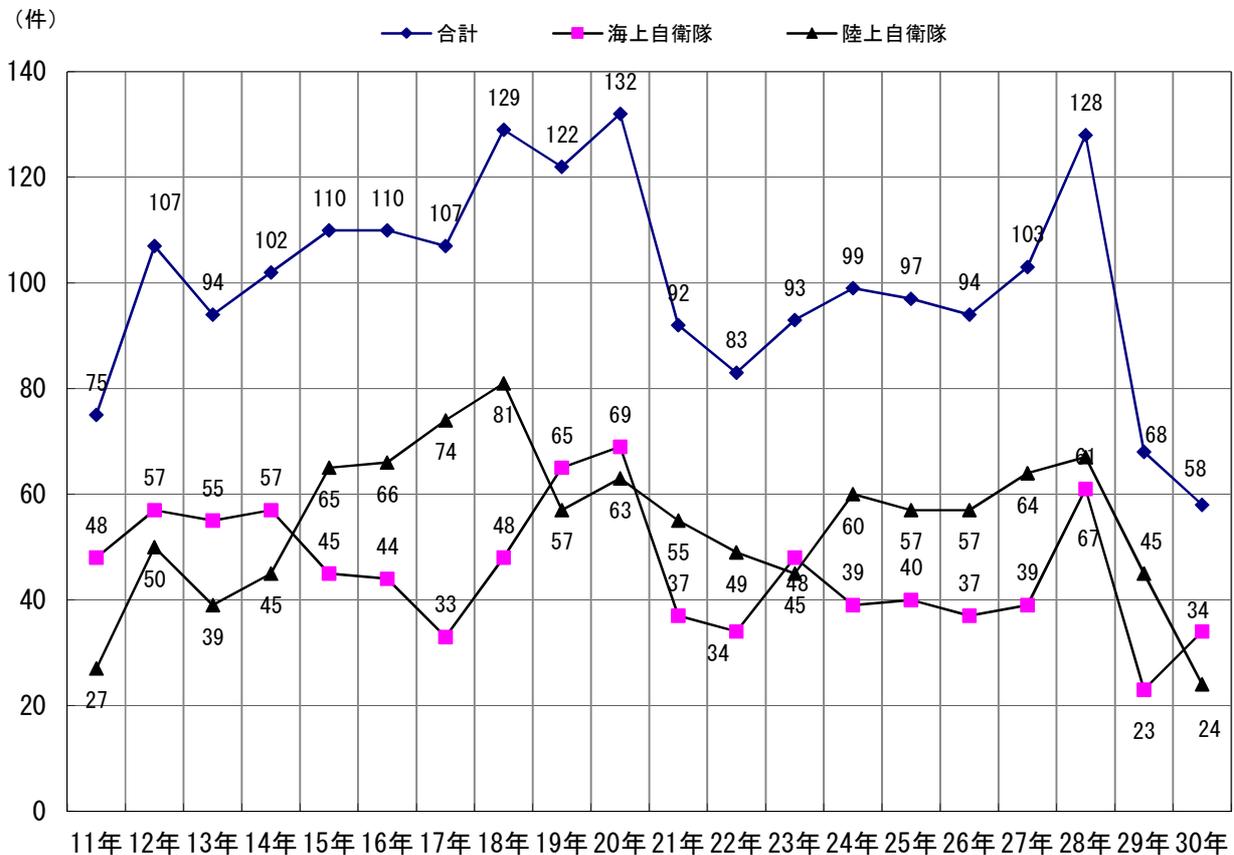
平成30年中における急患搬送出動件数は58件である。（図9）

出動件数58件を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が33件（全体の65.4%）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が15件（同22.2%）、鹿児島郡が7件（同9.0%）となっている。（図10及び表24）

また、月別では、2月及び11月の7件が最も多く、時間帯別（派遣要請時間）では18時から20時までが19件で最も多くなっている。（表25）

平成30年中の搬送人員を傷病別にみると、内臓疾患によるものが30人（全体の51.7%）で最も多く、次に産科・婦人科が7人（同12.1%）となっている。（表26及び表27）

図9 過去20年間の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図10 過去20年間の市・郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その1）

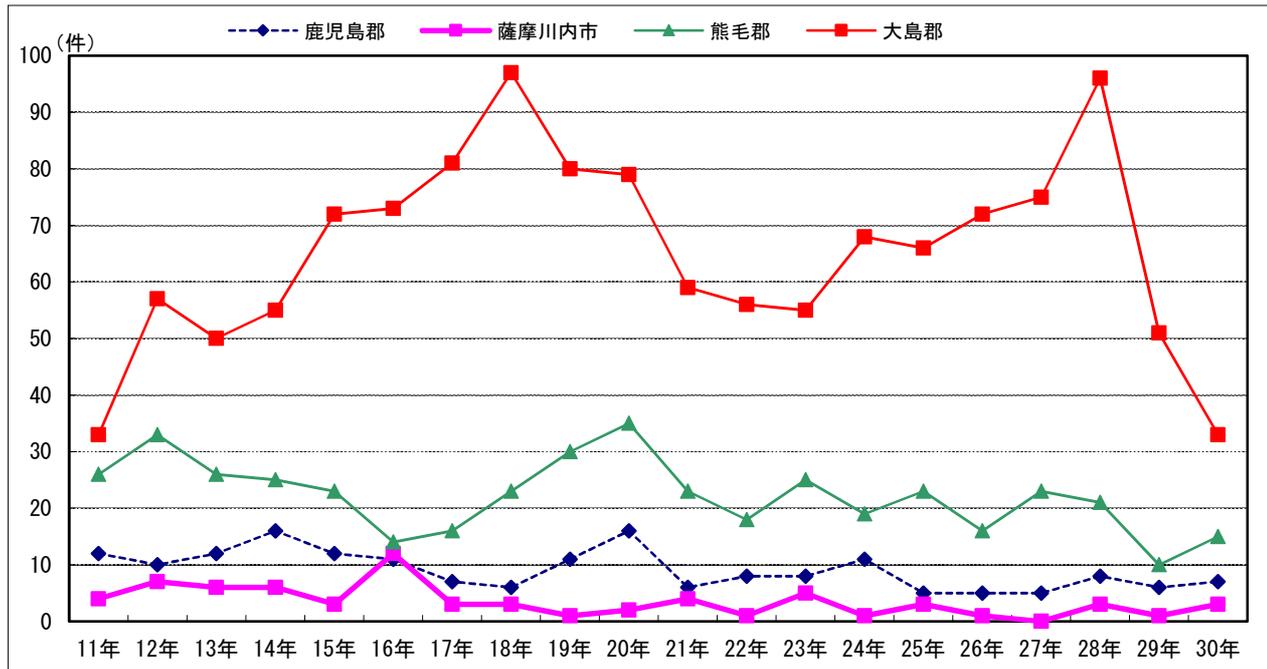


表24 過去20年間の市・郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その2） (年中)

年	郡別	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊毛郡	大島郡	計のうち不搬送件数
平成 11 年		75 (27)	12	4	26	33 (27)	鹿屋1件
12		107 (50)	10	7	33	57 (50)	鹿屋1件
13		94 (39)	12	6	26	50 (39)	鹿屋2件
14		102 (45)	16	6	25	55 (45)	鹿屋2件
15		110 (65)	12	3	23	72 (65)	鹿屋2件
16		110 (66)	11	12	14	73 (66)	
17		107 (74)	7	3	16	81 (74)	
18		129 (81)	6	3	23	97 (81)	
19		122 (57)	11	1	30	80 (57)	鹿屋1件
20		132 (63)	16	2	35	79 (63)	鹿屋2件, 沖縄2件
21		92 (55)	6	4	23	59 (55)	鹿屋1件
22		83 (49)	8	1	18	56 (49)	
23		93 (44)	8	5	25	55 (44)	鹿屋1件, 沖縄2件
24		99 (61)	11 (1)	1	19	68 (60)	鹿屋1件, 沖縄1件
25		97 (57)	5	3	23	66 (57)	沖縄1件
26		94 (57)	5	1	16	72 (57)	沖縄1件
27		103 (64)	5	0	23	75 (64)	沖縄1件
28		128 (67)	8	3	21	96 (67)	
29		68 (45)	6	1	10	51 (45)	沖縄1件
30		58 (24)	7	3	15	33 (24)	
計		2,003 (1,090)	182 (1)	69	444	1308 (1089)	沖縄分構成比
構成比率		100.0%	9.1%	3.4%	22.2%	65.3%	(54.4%)

- (注) 1 ( ) 内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。  
 2 便宜上、熊毛郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。  
 3 平成12年、14年、19年及び20年の鹿児島郡には、各年1件ずつ、離島外からの搬送を含む。

余 白

表25 過去20年間の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

区分		年別	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
月別	1	5 (1)	12 (8)	8 (5)	5 (2)	5 (2)	10 (6)	9 (5)	11 (5)	8 (4)	21 (11)	
	2	5 (2)	12 (6)	5 (3)	8 (5)	4 (4)	15 (10)	8 (8)	11 (8)	8 (3)	9 (4)	
	3	13 (5)	4 (1)	8 (2)	8 (4)	13 (5)	10 (4)	10 (7)	9 (7)	16 (10)	15 (6)	
	4	4 (3)	6 (3)	5 (2)	2 (1)	8 (5)	9 (5)	10 (7)	11 (7)	9 (6)	9 (3)	
	5	9 (4)	9 (6)	6 (1)	11 (3)	11 (9)	7 (6)	11 (7)	7 (6)	4 (1)	9 (6)	
	6	2	11 (6)	7 (5)	5 (4)	12 (5)	4 (3)	8 (6)	11 (5)	10 (4)	5 (3)	
	7	11 (5)	7 (4)	6 (3)	13 (7)	9 (5)	7 (4)	7 (6)	11 (7)	2 (2)	7 (4)	
	8	5	9 (4)	8 (2)	7 (4)	5 (3)	4 (2)	5 (5)	13 (7)	11 (6)	10 (5)	
	9	4 (2)	7 (1)	10 (4)	14 (3)	8 (7)	15 (11)	8 (5)	8 (4)	7 (3)	4 (2)	
	10	3 (2)	12 (4)	9 (4)	13 (5)	13 (5)	10 (7)	13 (10)	6 (5)	21 (8)	12 (4)	
	11	6	12 (5)	17 (4)	8 (2)	11 (7)	11 (6)	8 (4)	17 (9)	13 (4)	18 (8)	
	12	8 (3)	6 (2)	5 (4)	8 (5)	11 (8)	8 (2)	10 (4)	14 (11)	13 (6)	13 (7)	
計		75 (27)	107 (50)	94 (39)	102 (45)	110 (65)	110 (66)	107 (74)	129 (81)	122 (57)	132 (63)	
時間帯別	0～2	4	5 (1)	2 (1)	6	10 (6)	6 (3)	3 (3)	6 (3)	2 (1)	6 (1)	
	2～4		5 (1)	5 (3)	9 (4)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	
	4～6	1 (1)	10 (8)	6 (1)	3 (1)	2	5 (4)	4 (2)	5 (3)	5 (2)	3 (2)	
	6～8	3	4 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (2)	6 (3)	10 (8)	5 (3)	7 (4)	3	
	8～10	8 (4)	11 (9)	6 (4)	11 (6)	19 (16)	13 (9)	7 (5)	11 (5)	13 (4)	13 (4)	
	10～12	8 (7)	9 (6)	12 (6)	12 (6)	21 (12)	21 (15)	14 (9)	21 (14)	19 (11)	12 (6)	
	12～14	8 (3)	4 (3)	8 (5)	8 (4)	9 (7)	11 (6)	11 (10)	19 (13)	11 (7)	15 (11)	
	14～16	11 (3)	8 (4)	8 (3)	8 (5)	6 (6)	12 (10)	8 (5)	5 (3)	10 (5)	18 (10)	
	16～18	12 (3)	14 (5)	16 (4)	12 (4)	12 (6)	9 (3)	14 (9)	18 (15)	10 (3)	11 (8)	
	18～20	8 (4)	17 (3)	8 (4)	16 (8)	5 (1)	11 (7)	9 (6)	13 (7)	21 (5)	11 (4)	
	20～22	8 (2)	10 (2)	9 (3)	9 (4)	14 (5)	9 (3)	14 (8)	11 (8)	13 (8)	13 (5)	
22～24	4	10 (6)	12 (3)	5	7 (3)	5 (2)	9 (7)	12 (5)	9 (6)	23 (10)		

(注) 1 ( )内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。  
 2 「時間帯」は、自衛隊への派遣要請時間である。

(年中)

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計
12 (5)	7 (4)	11 (3)	3 (2)	14 (6)	6 (3)	6 (4)	17 (10)	6 (5)	5 (3)	181 (94)
8 (8)	9 (7)	4 (4)	13 (8)	1 (1)	2 (1)	10 (6)	5 (3)	2 (2)	7 (2)	146 (95)
4 (4)	3 (2)	9 (4)	5 (3)	9 (6)	10 (6)	9 (8)	11 (7)	3 (2)	4 (2)	173 (95)
6 (4)	7 (3)	5 (1)	11 (5)	7 (3)	10 (8)	6 (3)	9 (3)	6 (5)	3 (1)	143 (78)
9 (5)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (2)	4 (4)	8 (4)	4 (1)	5 (1)	139 (82)
7 (6)	6 (4)	8 (1)	8 (4)	8 (4)	8 (5)	3 (2)	11 (5)	2 (1)	2	138 (73)
6 (5)	5 (3)	7 (6)	9 (6)	15 (7)	7 (5)	16 (11)	15 (10)	6 (2)	5 (4)	171 (106)
10 (5)	6 (4)	6 (2)	9 (7)	2 (1)	8 (7)	9 (4)	15 (5)	10 (7)	5 (2)	157 (82)
8 (3)	5 (4)	9 (5)	7 (5)	6 (5)	6 (2)	10 (4)	10 (8)	6 (4)	5 (4)	157 (86)
9 (5)	11 (1)	10 (7)	9 (4)	10 (7)	12 (8)	11 (6)	6 (5)	8 (7)	5 (2)	203 (106)
6 (1)	10 (4)	12 (4)	11 (8)	12 (8)	9 (5)	11 (6)	11 (2)	8 (5)	7 (1)	218 (93)
7 (4)	9 (9)	7 (4)	9 (4)	8 (5)	11 (5)	8 (6)	10 (5)	7 (4)	5 (2)	177 (100)
92 (55)	83 (49)	93 (45)	99 (60)	97 (57)	94 (57)	103 (64)	128 (67)	68 (45)	58 (24)	2003 (1090)
9 (3)	7 (6)	5	8 (5)	5 (4)	8 (5)	7 (6)	11 (5)	7 (4)	3 (1)	120 (58)
2 (1)	3	5 (2)	4 (2)	6 (3)	4 (1)	7 (2)	7 (6)		4 (2)	78 (36)
3 (1)	1 (1)	1	5 (2)	2 (1)	3 (2)		8 (3)	3 (1)	3	73 (35)
2 (1)	1	1 (1)	5 (5)	3 (3)	5 (4)	2 (2)	5 (3)		2	72 (46)
4 (2)	9 (6)	9 (4)	5 (5)	3 (3)	9 (6)	5 (4)	10 (6)	1 (1)	0	167 (103)
13 (11)	9 (4)	10 (8)	9 (6)	10 (9)	6 (3)	12 (8)	16 (7)	1	0	235 (148)
11 (7)	12 (6)	6 (2)	5 (2)	14 (9)	10 (8)	10 (6)	11 (8)	1 (1)	3 (1)	187 (119)
9 (7)	11 (8)	5 (2)	7 (5)	5 (3)	6 (5)	9 (2)	8 (4)	2 (2)	1 (1)	157 (93)
11 (5)	7 (5)	11 (8)	13 (8)	14 (8)	10 (3)	17 (11)	12 (7)	9 (6)	2 (1)	234 (122)
10 (5)	5 (2)	14 (3)	15 (9)	16 (6)	13 (9)	17 (12)	25 (11)	11 (9)	19 (10)	264 (125)
7 (5)	10 (6)	20 (12)	11 (6)	10 (4)	9 (6)	11 (8)	7 (2)	23 (15)	13 (6)	231 (118)
11 (7)	8 (5)	6 (3)	12 (5)	9 (4)	11 (5)	6 (3)	8 (5)	10 (6)	8 (2)	185 (87)

表26 平成30年中の市町村別搬送人員傷病別内訳

傷病別 市町村別		合 計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
			頭部	その他	頭部	その他						
鹿児島郡	三島村	3									2	1
	十島村	4									1	3
薩摩川内市		3									1	2
熊毛郡 (西之表市含)	西之表市	6					1				3	2
	中種子町	1									1	
	南種子町	2				1					1	
	屋久島町	6					1				5	
大島郡 (奄美市含)	奄美市	11 (3)							5 (1)	1	4 (2)	1
	龍郷町											
	大和村											
	宇検村											
	瀬戸内町											
	喜界町	8 (7)					1 (1)		1		6 (6)	
	徳之島町	4 (4)					1 (1)		1 (1)		1 (1)	1 (1)
	天城町											
	伊仙町											
	和泊町	1 (1)				1 (1)						
	知名町	5 (5)					2 (2)			1 (1)	1 (1)	1 (1)
	与論町	4 (4)									4 (4)	
計		58 (24)			1 (1)	1	6 (4)		7 (2)	2 (1)	30 (14)	11 (2)

(注1) ( )内は、沖縄自衛隊搬送人員の内書きである。

(注2) 不搬送の傷病者は含まない。

表27 過去20年間の離島急患搬送人員及び傷病別内訳

(年中)

年別 傷病別	計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
		頭部	その他	頭部	その他						
11	75 (28)	2	1 (1)	1	1	13 (6)	5 (2)	6 (2)	4	37 (15)	5 (2)
12	106 (51)	3 (2)	1 (1)		2	30 (18)	3 (3)	12 (6)	7 (3)	45 (18)	3
13	92 (39)	1 (1)	2	2 (1)	5 (1)	20 (9)	2 (2)	4 (3)	5 (2)	41 (16)	10 (4)
14	102 (46)	1 (1)	4 (3)		4 (2)	15 (5)	7 (3)	5 (4)	13 (8)	48 (18)	5 (2)
15	110 (66)	2 (1)	2 (1)		4 (1)	30 (15)	3 (1)	12 (11)	10 (9)	38 (22)	9 (5)
16	111 (66)	1 (1)	1 (1)		1	23 (11)	2 (1)	13 (8)	20 (16)	47 (28)	3
17	103 (71)		1			21 (16)	4 (2)	21 (15)	5 (5)	46 (30)	5 (3)
18	126 (79)		4 (4)	1 (1)	2 (1)	24 (9)		29 (20)	11 (7)	51 (35)	4 (2)
19	117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)
20	131 (64)	1	1		3 (1)	29 (17)	2 (1)	23 (9)	18 (11)	45 (21)	9 (4)
21	93 (56)	1 (1)	2	2 (1)	1	19 (11)		16 (10)	10 (6)	37 (25)	5 (2)
22	83 (49)	2 (1)	1 (1)			17 (9)	4 (3)	14 (7)	2 (2)	30 (18)	13 (8)
23	94 (46)		1			21 (9)	1 (1)	22 (6)		36 (23)	13 (7)
24	101 (61)	1	5 (2)			18 (10)	2 (1)	13 (5)	5 (5)	46 (32)	11 (6)
25	96 (56)	1 (1)	1		3 (2)	12 (4)		21 (13)	1 (1)	38 (25)	19 (10)
26	93 (56)	2 (1)	6 (4)		3 (3)	7 (3)		17 (10)	6 (4)	39 (21)	13 (10)
27	104 (65)	4 (3)	4 (1)	3 (1)	3	13 (10)	4 (2)	13 (8)	1	49 (33)	10 (7)
28	128 (67)	2	1 (1)		2	24 (17)	3 (1)	17 (9)	4 (2)	48 (22)	27 (15)
29	68 (45)		3 (3)			17 (11)	1 (1)	2 (1)	9 (7)	26 (17)	10 (5)
30	58 (24)			1 (1)	1	6 (4)		7 (2)	2 (1)	30 (14)	11 (2)

(注) ・本表は、鹿屋の海上自衛隊第1航空群及び沖縄の陸上自衛隊第15旅団（内書き）が搬送した人員である。  
・不搬送の傷病者は含まない。

## 第4 消防・防災ヘリコプターの活動

### 1 消防・防災ヘリコプターの導入

県では、大規模災害時における広範な消防防災活動を行うほか、急患搬送、災害危険箇所の調査点検などに幅広く活用するとともに、災害時の被害状況をよりの確かつ迅速に把握するため、消防・防災ヘリコプター「さつま」を導入し、平成10年4月1日、運航拠点となる枕崎空港（現枕崎ヘリポート）に防災航空センターを設置するとともに枕崎市、南さつま市、指宿南九州の3消防本部から派遣された消防職員6名で編成する鹿児島県防災航空隊を発足させた。

平成30年12月19日に、経年劣化による不具合の発生を防止し、更なる安定的な運航を図ることを目的とし、新たな機材への更新を行い、令和元年5月11日から運航を開始した。

なお、平成29年4月1日から平成32年3月31日まで、伊佐湧水消防組合より派遣された消防職員1名を加え、航空隊7名体制となっている。

### 2 消防・防災ヘリコプターの活動内容

消防・防災ヘリコプターは以下の活動を行うこととしている。

- (1) 災害応急対策活動
  - ア 被災状況等の調査及び情報収集活動
  - イ 食料、衣料その他の生活必需品及び復旧資材等の救援物資、人員等の搬送
  - ウ 災害に関する情報、警報等の伝達等広報宣伝活動
  - エ その他、災害応急対策上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (2) 救急活動
  - ア 山村、離島等からの救急患者の搬送
  - イ 傷病者発生地への医師搬送及び医療機材等の搬送
  - ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の病院搬送
  - エ 消防・防災ヘリの積極的活用としての本土内搬送
  - オ その他、救急活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (3) 火災防御活動
  - ア 林野火災等における空中からの消火活動
  - イ 被災状況調査及び情報収集活動
  - ウ 消防隊員、消防資機材等の搬送
  - エ その他、火災防御活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (4) 救助活動
  - ア 河川、海等での水難事故、山岳遭難事故等における捜索または救助
  - イ 高層建築物火災における救助
  - ウ 山崩れ等の被害により、陸上から接近できない被災者等の救助
  - エ 高速道路及び自動車専用道路での事故救助
  - オ その他、救助活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (5) 広域航空消防防災応援活動
  - ア 県が締結している他県との相互応援協定等による相互応援
- (6) 災害予防活動

表28 消防・防災ヘリコプター「さつま」の諸元・性能

		～令和元年5月11日(旧機体)	令和元年5月11日～(新機体)
型 式		ベル式412EP型	レオナルド式AW139型
定 員		13名(増槽タンク非装着時15名)	14名(前席2名+客席12名)
最 大 全 装 備 重 量		5,398kg	7,000kg
空 虚 重 量		3,820kg	4,579kg
有 効 搭 載 量		1,578kg	2,421kg
航 続 距 離		720km	1,250km
最 大 巡 航 速 度		259km/h	310km/h
限 界 高 度		6,096m	6,096m
全 長		17.1m	16.62m
全 幅		2.9m	4.22m
全 高		4.6m	4.98m
消 火 用 水 積 載 量		1,400ℓ	1,800ℓ

### 3 消防・防災ヘリコプターの運航状況

平成30年中における運航件数は190件となった。

過去10年間の推移は下図のとおりであり，救急活動，山岳や海上での捜索，救助活動などの緊急運航や各種防災訓練を行った。

図11 過去10年間の活動状況

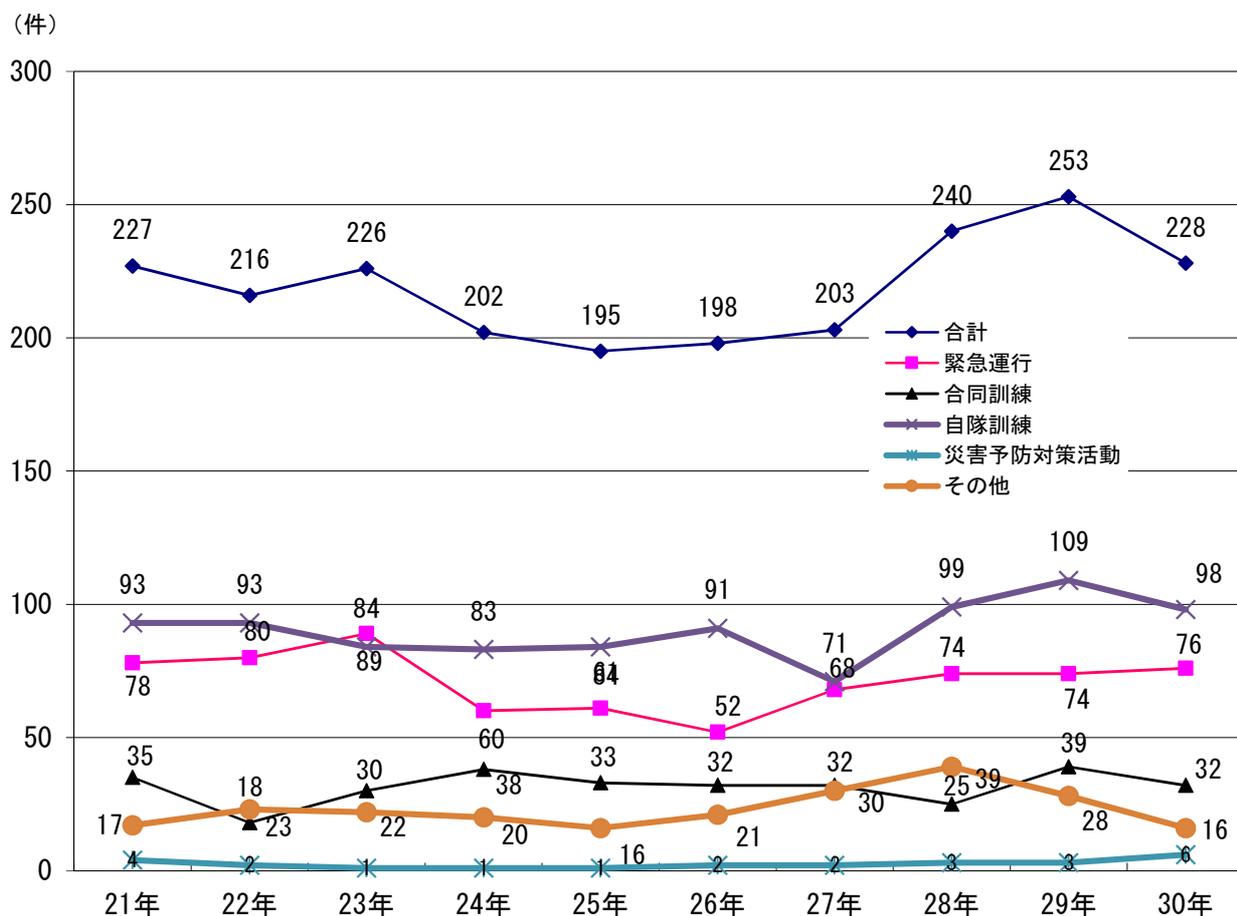


表29 消防・防災ヘリコプターの運航状況

(平成30年)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	総計	
緊急運航	災害応急対策活動	件数			1	1				3					5	76件 96時間25分
		時間			1:50	1:30				8:55					12:15	
	救急活動	件数	1	3	3	1	10	4	2	1	4	3	3	4	39	
		時間	2:50	5:45	4:20	0:35	10:20	3:10	1:15	1:35	5:50	3:20	4:55	3:30	47:25	
	火災防 御活動	件数				1									1	
		時間				0:30									0:30	
	救助活動	件数			1	2	7	1			2	2	4	1	20	
		時間			2:15	3:30	6:25	1:35			0:25	1:00	4:10	0:55	20:15	
	広域応援	件数				2		1	1			7			11	
		時間				5:00		1:25	2:20			7:15			16:00	
災害予防活動	件数		1	2			1		1		1			6	6件 12時間15分	
	時間		3:30	3:10			1:20		2:10		2:05			12:15		
合同訓練	他県広域関係	件数													32件 43時間25分	
		時間														
	県市町村関係	件数	3	2		1	3	1		1	2	11	8			32
		時間	3:10	4:30		0:40	3:10	1:40		1:25	2:10	16:20	10:20			43:25
	合同訓練 事前訓練	件数														
		時間														
自隊訓練	件数	8	9	18	13	6	10	1		8	6	11	8	98	98件 99時間20分	
	時間	6:45	8:40	22:00	12:25	5:40	8:45	1:45		7:40	6:15	11:35	7:50	99:20		
その他	件数	3		1		1	1	3	2	2	2	1		16	16件 15時間45分	
	時間	6:55		0:05		0:05	1:30	2:50	2:35	0:35	0:50	0:20		15:45		
合計	件数	15	15	26	21	27	19	7	8	18	32	27	13	228	228件 267時間10分	
	時間	19:40	22:25	33:40	24:10	25:40	19:25	8:10	16:40	16:40	37:05	31:20	12:15	267:10		

表30 消防・防災ヘリコプターの活動状況（H30年中）

(1) 災害応急対策活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	3/9		霧島市	1:50
2	1	4/19		宮崎県えびの市	1:30
3	1	8/23		十島村（口之島，中之島）	2:20
4	1	8/23		十島村（中之島，平島，諏訪之瀬島，悪石島，小宝島）	4:00
5	1	8/24		十島村（中之島）	2:35
5件 5回 12時間15分					

(2) 救急活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	搬送人員	時 間
1	1	1/15		鹿児島市	1	2:50
2	1	2/12		西之表市	1	1:20
3	1	2/20		奄美市		2:10
4	1	2/20		奄美市	1	2:15
5	1	3/8		出水市	1	1:55
6	1	3/16		屋久島町	1	1:20
7	1	3/30		西之表市	1	1:05
8	1	4/20		屋久島町	1	1:40
9	1	5/4		屋久島町	1	0:35
10	1	5/7		屋久島町	1	1:40
11	1	5/7		三島村（竹島）		0:55
12	1	5/7		三島村（竹島）	1	0:55
13	1	5/12		指宿市	1	1:40
14	1	5/15		屋久島町	2	0:50
15	1	5/22		西之表市	1	1:15
16	1	5/23		西之表市	1	1:05
17	1	5/27		南種子町	1	1:25
18	1	5/28		屋久島町	1	1:25
19	1	6/1		西之表市		0:40
20	1	6/1		西之表市	1	0:45
21	1	6/5		指宿市	1	0:35
22	1	6/17		西之表市	1	1:10
23	1	7/11		三島村（黒島）		0:35
24	1	7/11		三島村（黒島）	1	0:40
25	1	8/24		南種子町	1	1:35
26	1	9/14		奄美市		3:15
27	1	9/16		指宿市	1	0:10
28	1	9/25		十島村（諏訪之瀬島）		1:05
29	1	9/25		十島村（諏訪之瀬島）	1	1:20
30	1	10/15		霧島市	1	0:10
31	1	10/25		鹿児島市	1	2:55
32	1	10/27		指宿市	1	0:15
33	1	11/1		鹿児島市	1	3:05
34	1	11/10		霧島市	1	0:30
35	1	11/11		屋久島町	1	1:20
36	1	12/13		三島村（黒島）		0:45
37	1	12/13		三島村（黒島）	1	0:50
38	1	12/21		屋久島町	1	1:40
39	1	12/30		指宿市	1	0:15
39件 39回 49時間55分						

(3) 火災防御活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	4/1		薩摩川内市	0:30
1件 1回 0時間30分					

## (4) 救助活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	3/6		屋久島町(山岳救助)	2:15
2	1	4/20		屋久島町(山岳救助)	1:40
3	1	4/22		屋久島町(山岳救助)	2:30
4	1	5/1		長島町(水難捜索)	2:00
5	1	5/2		南大隅町(水難捜索)	1:35
6	1	5/4		屋久島町(山岳救助)	0:40
7	1	5/12		指宿市(山岳救助)	1:40
8	1	5/12		指宿市(山岳救助)	1:40
9	1	5/15		屋久島町(山岳救助)	0:55
10	1	5/17		いちき串木野市(山岳救助)	0:35
11	1	6/24		伊佐市(水難捜索)	1:35
12	1	9/16		指宿市(山岳救助)	0:15
13	1	9/16		指宿市(山岳救助)	0:10
14	1	10/15		霧島市(山岳救助)	0:40
15	1	10/27		指宿市(山岳救助)	0:20
16	1	11/10		霧島市(山岳救助)	0:45
17	1	11/19		南さつま市(水難捜索)	1:05
18	1	11/19		南さつま市(水難捜索)	1:10
19	1	11/20		南さつま市(水難捜索)	1:10
20	1	12/30		指宿市(水難救助)	0:55
20件 20回 23時間35分					

## (5) 広域航空消防防災応援活動

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	4/11		宮崎県 (火災防ぎよ: 散水5回)	1:55
2	1	4/12		宮崎県 (火災防ぎよ: 散水18回)	3:55
3	1	6/14		熊本県 (救急)	1:25
4	1	7/9		宮崎県 (捜索)	2:20
5	1	10/12		大分県 (捜索)	2:35
6	1	10/14		熊本県 (救助)	1:10
7	1	10/14		熊本県 (救急)	3:35
8	1	10/15		宮崎県 (救助)	0:50
9	1	10/15		宮崎県 (救急)	0:05
10	1	10/15		大分県 (救助)	0:55
11	1	10/15		大分県 (救急)	1:05
11件 11回 19時間50分					

## (6) 各種防災訓練等への参加等

件数	回数	月 日	訓練内容	訓練名及び実施場所	時 間
1	1	1/7	エバック誘導無し救助	南さつま市消防出初め式	0:40
2	1	1/12	エバック誘導無し救助	平成30年度桜島火山爆発総合防災訓練	1:15
3	1	1/17	航空担架救助	始良市消防本部平成30年度第2回警防訓練	1:15
4	3	2/3	要員搬送・急患搬送・情報収集	原子力防災訓練	3:25
5	1	2/14	ドロップタンク消火	大隅曾於地区消防組合林野火災防ぎよ訓練	1:05
6	1	4/30	航空機集結訓練	エアメモリアル	0:40
7	1	5/20	水難救助訓練	川内川総合水防演習	0:50
8	2	5/23	ヘリテレ映像伝送訓練	鹿児島市消防局 映像伝送訓練	2:35
9	1	5/27	要員搬送・広報活動訓練	鹿児島県総合防災訓練	1:15
10	1	6/4	隊員投入・パーティカル担架救助	鹿児島市高度救助隊連携訓練	1:40
11	1	9/2	広報活動訓練	南九州市総合防災訓練	0:30
12	1	9/19	情報収集・隊員投入・エバック誘導有り救助	伊佐湧水消防組合山岳救助訓練	1:40
13	1	10/3	地上支援要領	消防防災ヘリ活動支援研修 (大島)	4:00
14	1	10/9	パーティカル担架救助	さつま町消防本部山岳救助訓練	1:40
15	1	10/12	隊員投入訓練	日置市消防本部隊員投入訓練	1:10
16	2	10/16	航空担架救助	石油コンビナート等総合防災訓練 (串木野地区)	2:00
17	1	10/18	隊員投入・パーティカル担架救助	鹿児島市消防局西消防署山岳救助訓練	1:30
18	1	10/22	他院投入・各救助訓練	消防学校救助科合同訓練	1:10
19	1	10/23	状況調査訓練	石油コンビナート等総合防災訓練 (喜入地区)	0:45
20	1	10/26	隊員投入・航空担架救助	薩摩川内市消防局連携訓練	1:30
21	1	10/29	航空担架救助	垂水市消防本部山岳救助訓練	1:00
22	1	10/31	隊員投入・各救助訓練	指宿南九州消防組合南九州消防署連携訓練	1:10
23	1	11/14	隊員投入・エバック誘導無し救助	熊毛地区消防組合隊員投入連携訓練	2:25
24	1	11/15	パーティカル担架救助	いちき串木野市消防本部山岳救助訓練	1:10
25	1	11/18	水難救助訓練	いちき串木野市総合防災訓練	0:40
26	1	11/19	航空担架救助	鹿児島市消防局南消防署山岳救助訓練	0:45
27	1	11/27	地上支援要領	消防防災ヘリ活動支援研修 (大隅)	1:10
27件 31回 38時間55分					

余 白